



寒竹選手のトスアップで試合開始

島根スサノオマジックの選手が赤名小学校を訪問し、子ども達と「夢」について語り合ったり、体育館でボールを使って一緒に体を動かしたりする「夢授業」が開催されました。

赤名小学校を訪れたのは、キャプテンの寒竹隼人選手と栗野譲選手。3、6年生を対象にした授業では、「ナンバーワンを目指してほしい」「色々なことにチャレンジして本気になる好きなものを見つけよう」と子ども達に伝えました。子ども達は「挫折はあっても、諦めずに好きなことを続けていきたいです」と答えていました。

AR
動画



体育館の寒さにも負けず一斉にドリブル

その後体育館では、全校生徒と一緒にボールを使って、選手が普段行っている練習やミニゲームを通して、交流を深めました。

プロバスケットボール選手と交流 島根スサノオマジック夢授業

1/18
水



栗野選手の指導を真剣に聞く子ども達

ひと*いきいき

生命地域を拓く私たちの提言 ふるさとシンポジウム

2/3
金



一人ひとりの思いをみんなで共有します

子ども達に、町民の一人として主体的・創造的にふるさとに参画し貢献しようとする意欲を持ってもらうことを目的に、ふるさとシンポジウムを開催しました。

上田悠彦さん(赤名中3年)が、サイクリングと森林セラピーを組み合わせた観光や自転車の大会誘致などを提案したほか、来島小・志々小・飯南高校から研究発表がありました。

また、「町の活性化のために、あなたが町長だったらどんなことを

するか」というテーマでグループに分かれて意見交換をしました。

現代版 井戸端会議 親学プログラム

1/18
水

1/26
木

2/1
水

「親学」は、親としての役割や子どもとのかかわり方の気づきを促すための、参加型ワークショップです。「互いに」「楽しく」「体験的に」を合言葉に、参加者自身の考えや気づきを大切にしています。

今回は、来島小学校と頓原小学校、赤名保育所で開催しました。テーマはそれぞれ「子どもに示したい



楽しい雰囲気の中で、井戸端会議がスタートしました

大人のふるまい「メディアとの上手なつき合い方」「私のほめ方・しかり方」。参加者同士の意見交換を、和気あいあいとした雰囲気の中で行いました。参加者からは、「とても楽しく話げができた。また、一緒に話せるといい」といった声がありました。

練習の成果を披露 飯南町スキー大会

2/4
土



ゲレンデを颯爽と駆け抜けます

第11回飯南町スキー大会を、琴引フォレストパークスキー場で開催しました。各部門の優勝者は次のとおりです。(敬称略)

各部門優勝者(敬称略)

- 小学校1・2年女子の部
和久利 友瑚(来島小)
- 小学校1・2年男子の部
荻野 満(赤名小)
- 小学校3・4年女子の部
前島 柚花(赤名小)
- 小学校3・4年男子の部
和久利 昊生(来島小)
- 小学校5・6年女子の部
安部 千桜(来島小)
- 小学校5・6年男子の部
石田 壮太(赤名小)
- 一般男子の部
山本 弘文

町長就任 あいさつ



私は、このたび、町民の皆様の温かいご理解とご支援を賜り、引き続き4期目の町政の重責を担わせていただくことになりました。

ご支援に、心よりお礼申し上げます。そして、賜りました信頼と期待にお応えすべく、飯南町のさら

なる発展に、全力を尽くす所存でございます。

さて、現在、本町では、「第2次総合振興計画・前期計画」と「地方創生・総合戦略」の推進に町民みんなで取り組んでいます。そうした中で、私は、今回、特にまちづくりの重要な柱として、「3つの守り」と「3つの攻め」を掲げました。『守り』として、「医療、福祉を守る」「企業、事業所を守る」「集落、地域を守る」。『攻め』として、「産業振興、モノづくりの推進」「教育、人材育成の推進」「定住、人材誘致の推進」です。これらを、スピード感を持って推し進めてまいります所存です。

医療や福祉の体制を充実し、農林商工が複合した産業を盛んにし、集落、地域の、そして、町の担い手を育てる。状況は大変厳しいですが、成さねばなりません。

町民の皆さんが住み慣れたこの飯南町で、いつまでも、健やかに安心して暮らせる「みんなが幸せに暮らせる飯南町」を、みんなの力で築きたいと思えます。

町民の皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

飯南町長 山崎英樹